



発行所 岩室村役場
印刷所 巻・北洋印刷K.K

No. 153

岩室村の人口

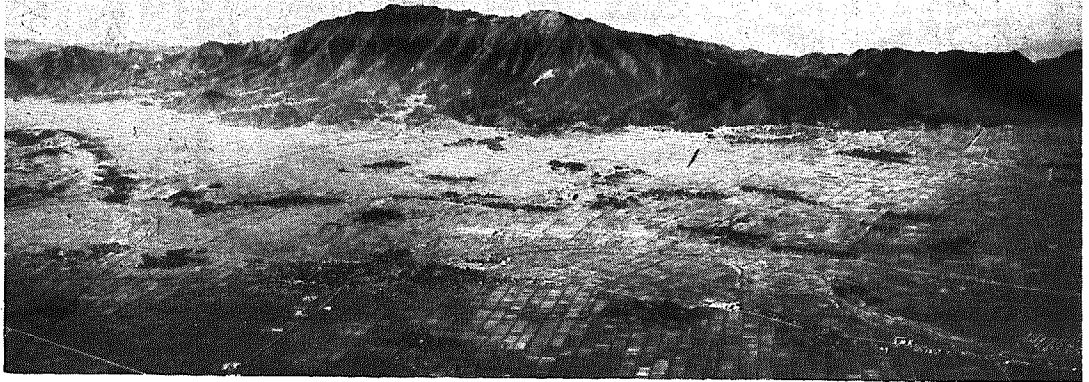
(11月30日現在) 前月対比

男	4,253人	(+2)
女	4,815人	(-1)
計	9,068人	(+1)
世帯数	2,104世帯	()

(住民基本台帳による)



昭和50年実行目標 老人をいたわろう



新年おめでとーう

ございます

岩室村長 横山喜八郎



謹んで村民の皆様へ新年のご挨拶を申し上げます。

昭和四十九年も諸事多難のうちにあわただしく過ぎ去り、希望にあふれた昭和五十年の新春を迎えましたことを心からお喜び申し上げます。

昨今、激しい社会経済情勢の変化は、村政をめぐる環境を一段と厳しいものにしており、特に前年度は、国、地方を通ずる総需要抑制下において本村財政も極めて困難の局面を迎えているわけですが、私は、長期的視野に立つて諸先輩の積みあげた基礎をもとに、逐次村政の一層の伸長と発展を期する所存でございます。

行政をたずさわる者のひとりとして、私の村政に対する基本的な考え方を申し上げます。

上げますと、より豊かな村と民生活の実現をめざして村民各位の英知と持てる力を結集して、自然と人間と産業の調和のとれた村行政を積極的に展開することにより、魅力と活力にあふれる真の躍進岩室村を築くことを念願するものであります。

今年度の諸施策については農林省指定の自然休養村事業は、昭和四十九年度に観光牧場の達成、観光野菜園(ほりとり、もぎとり園)の園地造成を完了し、継続事業として今年度は第三年度を迎え、自然休養村にあふらしい本村の汚れない美しい自然環境の中で、自由な余暇活動の楽しみを与え、緑豊かな平野と山と海の立体的な自然立地を生かした施設整備と、弥彦山スカイラインと越後七浦シーサイドラインを連携した、郷土色豊かなバラエティーに富んだ岩室観光の開発を進め、農業を軸とした商工業循環と農村観光を加えて地域の折衝ある総合的発展を図るものであります。

「ゆりかごから墓場まで」といわれますが、人間が、この世に生を享け、人間となるべき教育を受け社会の荒海に出帆するわけであり、心豊かな幼児時代からの保育教育から高校まで一連のシステム化している今日、これらの諸環境の整備を進め、豊かな村づくりは人づくりから、教育方針として、平和を守り国際社会の一員として信依と尊敬に値する教育と公德心を併せもつ、健全でたくましい実践活動を有する村民の育成を目標に掲げ、全般にわたる社会福祉に邁進いたします。

室村で労苦を癒しつつ、楽しく末永い人生を過ごしていただきたいと思うのであります。

地域住民の生活圏は、経済の進展とともにますます拡大されてまいりましたが、主要交通網との連携する生活道路と産業の流通機構の確保に基幹村道の改良改修を継続事業として強力に進め、均衡ある道路行政を促進するとともに、住宅団地の造成と商工業の育成をはかり、繁栄の中のひずみといわれる公害の発生を防ぎ、モーターゼインの発達により急増する交通渦に対する安全対策を強化し、諸生活環境の整備を進め、時代に即応した緑り豊かな明るい調和のとれた岩室村建設のために渾身の力を振り揮って努力することを固くお約束申し上げます。

村民各位の負託に応えるべく両眼割目して岩室村の彼方を凝視し両脚大地を踏み、憂村の至情をあらため、初心を忘れるべからずの鉄則を織り、本村伸展の方途を切り開き、絶え間ない此正と旧に倍するご理解ご協力を希うものであります。

最後に各位のご健勝を念じ、又、離村されて異郷の地にご活躍の方々に敬意を表するとともに、より良き新年でありますように念じて岩室村の繁栄を祈り年頭のご挨拶といたします。

岩室村の繁栄を祈り年頭のご挨拶といたします。